



**アルコール検知器協議会**  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

# アルコール検知器協議会 2019年度 (2019年4月-2020年3月)

## 業務委員会 活動報告

2020年4月16日

アルコール検知器協議会 第6回定時総会



# アルコール検知器協議会とは



## 第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題や自動車等の飲酒運転の根絶に寄与することを目的とする。本会は、営利を目的としない組織である。



# 2019年度



アルコール検知器協議会  
第4回定時総会

第二号議案

2018-2020  
中期活動計画（案）

2019年度  
（2019年4月-2020年3月）  
業務委員会活動計画

アルコール検知器協議会  
2018年4月23日  
幹事会

2019年4月12日  
日本アルコール検知器協議会 第5回定時総会



第1期  
2015-2017

第2期  
2018-2020

第3期  
2021-2023

# 業務委員会の役割

会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	○	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		○
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	○	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	○	○
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	○	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	○	○
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	○	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	○	



# 2018-2020活動計画

会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2018	2019	2020
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→		
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→		
	新検定の広報とウェブ拡充	→		
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→		
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動		→	→
	国土交通省プラン2020「飲酒運転根絶」		→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→		
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）		→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充		→	
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）		→	
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）		→	
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言		→	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充実化	→		

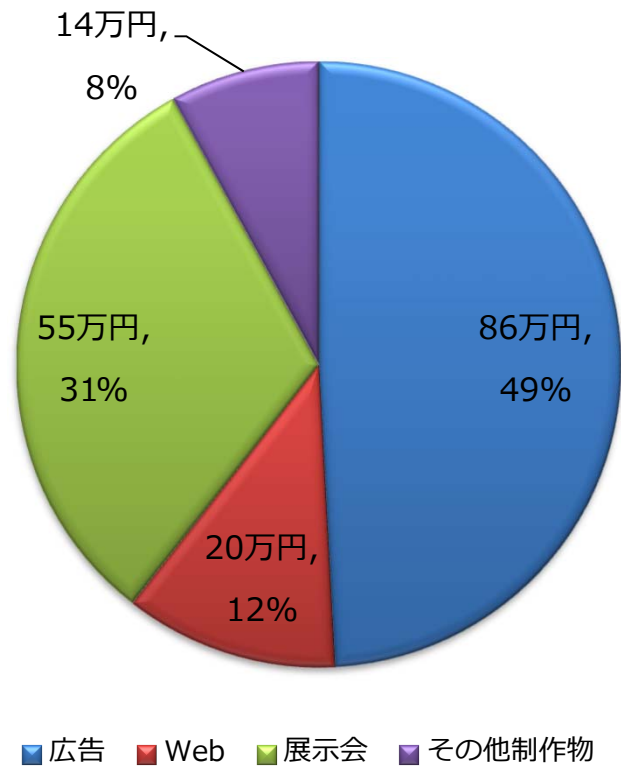


# 2019年度 業務委員会 4テーマ

1. 外部検定開始！の広報
2. J-BACの教育実績をつくる
3. 業界の見える化、情報提供の強化
4. 未接触各業界団体への認知活動



# 2019年度 単年度予算（案）



活動内容内訳		予算執行委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万



# 活動体制

## 2018-2020 中期活動目標 (2018年4月 総会決議)

業務委員会の役割とメンバー 企業名・敬称略			委員長	副委員長	リーダー	2019年度 (2019年4月 総会)				
						新Websiteによる 広報強化	未接触官庁 団体への認知)	展示会等による 広報・啓発	教育による 啓発活動	海外調査、 広報
						Web IT班	官公庁班	展示会班	教育班	海外班
Web IT班 (7社7名)	新コスモス電機	境 裕司			○					
	(株)パイ・アール	谷本亜樹								
	N I S S H A エフアイエス	柳谷 順子								
	テレニシ株式会社	細川理恵								
	テックウェルID	神木宏								
	名鉄 E I エンジニア	伊藤正秋								
	ドコモ・システムズ	村田 敦								
官公庁 広報班 (3社6名)	サンコーテクノ(株)	坂口正一			○					
	中央自動車工業	酒井 規光								
	中央自動車工業	浜本 謙								
	中央自動車工業	高橋 智也								
	パイ・アール	牧寺秀樹								
	パイ・アール	久世浩史								
展示会班 (7社9名)	フィガロ技研	西村明久			○					
	中央自動車工業	内丸 雅之								
	タニタ	坂田和彦								
	東洋マーク製作所	山内 昌人								
	テレニシ	東野 蔵			○					
	テレニシ	吉田寛之								
	ネモト・センサエンジニアリング	三浦 章宏								
	ネモト・センサエンジニアリング	菅井 孝								
	フィガロ技研	四方行洋								
教育班 (3社3名)	東海電子	森田一磨			○					
	タニタ	佐川清志								
	パイ・アール	山崎帆洋								
海外班 (1社2名)	東海電子	ブライアン アドコック			○					
	東海電子	杉本哲也	○							





# 2019年度 業務委員会 開催実績

開催	日程	東京	大阪
第1回	2019年5月8日	○	
第2回	2019年6月24日		○
第3回	2019年7月23日	○	
第4回	2019年9月19日		○
第5回	2019年10月24日	○	
第6回	2019年12月3日		○
第7回	2020年1月23日	○	
第8回	2020年2月25日		○



業務委員会活動

2019年度

> 2019年4月12日

> 2019年5月8日

> 2019年6月24日

> 2019年7月23日

> 2019年9月19日

> 2019年10月24日

> 2020年1月23日

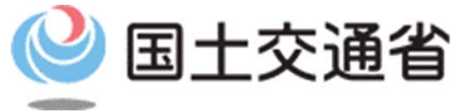
> 2020年2月25日



2019年度は、8回開催しました。議事録は会員ページに掲載。技術委員も閲覧可能。

[https://j-bac.org/members\\_only/gyoumu/](https://j-bac.org/members_only/gyoumu/)

# 官公庁班の上期活動



 総合政策	 国際	 物流	 運輸安全	 危機管理
 国土政策	 土地・建設産業	 都市	 水管理・国土保全	 道路
 住宅・建築	 鉄道	 自動車	 海事	 港湾
 航空	 北海道	 政策統括	 官庁営繕	 技術調査

## ◇国交省系

- ✓ 航空局 情報提供
- ✓ 鉄道局 検討会への参加
- ✓ 海事局 検討会への参加
- ✓ 自動車局 情報提供
- ✓ トラック協会 情報提供
- ✓ バス協会 情報提供

## ◇その他業界団体系

- ✓ 義歯安定剤連絡会
- ✓ JCCLS (ISO/TC272)



# 国交省の動き

## 2019年7月 航空



### 客室乗務員等の飲酒基準の制定

～航空分野でのアルコールによる事故・ヒューマンエラー防ぎます！～

一連の航空会社における飲酒事案を受け本年4月9日に有識者検討会にてとりまとめた「航空従事者の飲酒基準について」を踏まえ、本日、航空法に基づく操縦士以外の客室乗務員、運航管理従事者及び整備従事者についてのアルコールに関する基準を以下のとおり設けます。

#### 1. 概要

国土交通省では一連の航空会社における飲酒に係る不適切事案を踏まえ、昨年11月に有識者検討会を設置し、まずは操縦士の飲酒基準について検討を進め、昨年12月に中間とりまとめを行い、本年1月31日に操縦士の飲酒基準を制定しました。

それ以降、同検討会において操縦士以外の客室乗務員等の航空従事者について検討を進め4月9日にとりまとめを行ったところ、今般、当該とりまとめを踏まえ、客室乗務員等についての飲酒基準を制定しましたので公表します。

#### 2. 主な基準の内容

##### (1) 対象

航空機の運航に直接関与する者のうち「瞬時に正確な判断・行動」が求められる、かつ、その者の「単独の判断・行動」により安全運航に影響を与える以下の者。  
一 対象者：客室乗務員、運航前整備を行う整備従事者及び対空通信を行う運航管理従事者

##### (2) 内容

① アルコール検査の義務化(運航規程・整備規程(航空法104条)、業務規程(航空法20条)の記載項目の追加(課長通達))

・業務前にストロー式のアルコール検知器による検査を義務化

(※機上で旅客の避難誘導を行う客室乗務員は乗務後の検査も義務化)

・アルコールが検知された場合の検査を禁止

・検査時のなりすましやすり抜け等の不正防止体制(第三者立ち会い等)の義務化

・検査結果(日時、名前、数値等)の記録・保存の義務化 等

② アルコール教育の徹底等(安全管理規程(航空法第103条の2)の記載項目の追加(局長通達))

③ アルコールが検知された場合や検査を不正に行った場合等について航空局への報告の義務化(航空法第111条の4の報告対象に追加(室長通達))

関連通達については次のURLをご参照下さい。

URL:[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku10\\_h\\_000166.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku10_h_000166.html)

#### 3. スケジュール

公布・施行：令和元年7月5日(基準の適用にあたり大量のアルコール検知機器の整備等のために時間を要する場合があります)を踏まえ令和元年12月31日までの猶予期間を設定)

【お問い合わせ先】 航空局安全部 運航安全課 藤、小御門、河本  
TEL 代表 03-5253-8111(内線50111、50117)、直通 03-5253-8737 FAX 03-5253-1661  
航空局安全部 航空機安全課 田口、村上  
TEL 代表 03-5253-8111(内線50245、50249)、直通 03-5253-8735 FAX 03-5253-1661

## 2019年8月 海運



### 海運分野の新たな飲酒対策をとりまとめました ～「海運分野の飲酒対策に関する検討会」とりまとめ公表～

国土交通省は、「海運分野の飲酒対策に関する検討会」において検討した結果を踏まえ、今般、海運分野の新たな飲酒対策をとりまとめました。

交通輸送モードにおける飲酒に係る安全対策強化への関心が高まる中、海運分野においても飲酒に係る不適切事案が発生したことから、平成31年3月5日に「海運分野の飲酒対策に関する検討会」を設置し、海運分野における飲酒に係る安全管理体制のあり方等について検討を重ねてきました。

7月26日に開催した第3回検討会における議論も踏まえ、本日、海運分野における新たな飲酒対策をとりまとめを行いましたので公表いたします。

#### 【とりまとめの概要】

##### 1. 飲酒管理体制の強化

① アルコール検知器を用いた検査体制の導入

② 業務(航海当直)開始前の飲酒禁止期間の設定

③ 事業者の飲酒教育の実施

##### 2. 平穏な沿岸域(平水区域)のみを航行する船舶に対する飲酒規制(酒気帯び禁止)

#### 【添付資料】

・海運分野の新たな飲酒対策(本文)

※取りまとめ本文については、国土交通省ホームページからもご確認いただけます。



#### 【問い合わせ先】

国土交通省海事局安全政策課 前里、関、木内、塚石  
代表：03-5253-8111(内線 43-553、43-552、43-551、43-502)  
直通：03-5253-8631 FAX: 03-5253-1642

## 2019年10月 鉄道



### 鉄軌道運転士の飲酒に関する基準等を改正します

国土交通省では、鉄軌道事業者の飲酒に関する基準のあり方について検討した結果を踏まえ、鉄軌道の運転士に対する飲酒基準を改正しました。

公共交通全体で飲酒に関する規制の強化が強く求められている中、国土交通省では、鉄軌道事業者の飲酒に関する基準のあり方について昨年度より検討を重ねてまいりました。

今般、検討結果を踏まえ、鉄軌道事業者の運転士に対する飲酒に係る管理の徹底に万全を期すため、本日付で以下のとおり関連する基準(鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準、動力車操縦者運転免許の取消等の基準)等を改正しました。

#### 【主な改正の概要】

① 事業者に対し、運転士への酒気帯びの確認について以下の事項等を規定

・ 作業前後に酒気帯びの有無を確認

・ 酒気帯びの有無の確認はアルコール検知器(ストロー式、マウスピース式)の使用に加え、目視等により行う  
(作業前の確認以降、事業者の管理の下にある場合は、作業後のアルコール検知器を用いた検査を省略可)

・ 作業前に酒気を帯びた状態が確認された場合には当該係員の乗務禁止

・ 次に掲げる事項の記録・保存

確認を行った者及び確認を受けた者の氏名、確認の日時・方法、酒気帯びの有無

② 運転士に対し、酒気を帯びた状態で列車等を操縦した場合の行政処分(運転免許の取消)適用上の目安を設定

・ 身体に血液 0.2g/ℓ 以上又は呼気 0.09mg/ℓ 以上のアルコール濃度を保有している場合

・ 上記にかかわらず、飲酒の影響により、反応速度の遅延など列車等の正常な操縦ができないおそれがある場合

#### 【スケジュール】

改正・施行：令和元年10月4日

①の規定は、改正後の酒気帯びの有無の確認に関するアルコール検査を実施する体制等が整備されるまでの間、適用を猶予する経過措置を設ける

②の規定は、令和元年10月18日より適用

#### 【参考】

(国土交通省HP)

・鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準

(<http://www.mlit.go.jp/common/001273450.pdf>)

・動力車操縦者運転免許の取消等の基準

(<http://www.mlit.go.jp/common/000115770.pdf>)

【連絡先】 鉄道局技術企画課 (①に関する) 小林、小松

電話：03-5253-8111(内線40704)、直通：03-5253-8546、FAX：03-5253-1634

鉄道局安全監理官室 (②に関する) 記伊、福岡

電話：03-5253-8111(内線40765)、直通：03-5253-8548、FAX：03-5253-1634

官公庁班にて、外部検定機器、下限値、保守管理等、技術的な知見をふまえて、質疑や情報提供を行ってきた。



## 『海運分野における新たな飲酒対策について』 P5より

(エ) アルコール検知器の精度・保守管理 アルコール検知器については、他モードで利用され社会的に有効性が認められているもの **(例えば、アルコール検知器協議会が認定し、自動車分野で広く利用されているもの)** を使用することとし、アルコール検知器の入れ 替えにあたっては、現在の検知技術水準等を勘案し、次の性能の機器が推奨 される。アルコール検知器の分解能等については、0.01mg/L 単位で表示可能なもの（最低測定限界は 0.05mg/L）。また、アルコール検知器について、製造事業者の推奨する保守管理を行うべきである

<https://www.mlit.go.jp/common/001301861.pdf>



# 下限値に関する提言

2019年5月15日

アルコール検知器協議会



## 【アルコール検知器の測定下限値に関しまして】

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、アルコール検知器協議会に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、アルコール検知器の下限値に関しまして、当協議会としての考え方を取りまとめましたのでご報告いたします。

敬具

<記>

### 【提言】

「0.05mg/L未満を0.00mg/Lと表示することは協議会としては問題が無いものと判断する」

### 【理由】

- ・環境要因(温度、湿度、雑ガス、気圧等)、呼気に含まれる不純物等の要因により表示値に影響を及ぼす可能性がある
- ・国際規格である OIML R126(証拠用呼気アルコール分析計)でも最大許容誤差は±0.02mg/Lと規定されている
- ・アルコール検知器協議会として機器の精度は±0.03mg/Lを許容している
- ・飲酒をしていなければ、過去の経験と実績から、0.05mg/L以上になることは考えにくい

(注) 0.05 mg/L未満の場合であっても、目視等で総合的に確認した結果、酒気を帯びていると判断される場合は、この限りではない。

以上

『海運分野における新たな  
飲酒対策について』 P5より

「アルコール検知器の分解  
能等については、  
0.01mg/L 単位で表示  
可能なもの（最低測定限  
界は 0.05mg/L）。」



# 国土交通省 運輸安全調査官及び運輸安全マネジメント評価業務に携わる方 向けに研修

## 研修実施内容（約2時間）

令和元年度 運輸安全マネジメント評価（運輸安全調査官）研修

運輸セクターにおける飲酒規制と  
アルコール検知器について



J-RAC アルコール検知器協議会  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONVENTION

2020年1月9日

### Part II

運輸安全マネジメント対象業界における  
飲酒関連規制と検知器の関係



J-RAC アルコール検知器協議会  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONVENTION



アルコールの基礎知識と  
教育の啓発について



J-RAC アルコール検知器協議会  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONVENTION



# 日本バス協会

✓ 日本バス協会 月報・メルマガに記事掲載

# アル法ネット 賛助団体に登録

 **アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク** ☒ お問い合わせ English

趣旨と組織 | 賛助団体/賛同者 | アルコール関連問題 | 啓発週間 | 基本法 | 基本計画 | 資料ダウンロード

▶ 賛同者 ツイート Share

- ▶ 有識者など
- ▶ アルコール問題議員連盟
- ▶ 国会議員
- ▶ 知事・都道府県議会議員
- ▶ 市長・市議会議員

▶ 賛助団体 (全国)

▶ 賛助団体 (地区ブロック)

▶ 賛助団体 (県別)

- ▶ 北海道
- ▶ 青森県
- ▶ 岩手県
- ▶ 宮城県
- ▶ 秋田県
- ▶ 山形県
- ▶ 福島県
- ▶ 茨城県
- ▶ 栃木県
- ▶ 群馬県

## 賛助団体

■ 賛助団体 (全国一学会・研究会・職能団体など)

- ▶ アルコール医学生物学会
- ▶ アルコール問題議員連盟
- ▶ 一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
- ▶ 全国精神保健福祉相談員会
- ▶ 全日本自治団体労働組合
- ▶ 日本アディクション看護学会
- ▶ 日本アルコール看護研究会
- ▶ 日本アルコール関連問題学会
- ▶ 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
- ▶ 日本アルコール・薬物医学会
- ▶ 公益社団法人 日本医師会
- ▶ 日本依存神経精神科学会
- ▶ 公益社団法人 日本医療社会福祉協会

■ 賛助団体 (全国一市民団体・当事者団体・ネットワークなど)

- ▶ 特定非営利活動法人 ASK (アルコール薬物問題全国市民協会)
- ▶ アディクション問題を考える会 (AKK)
- ▶ アルコール・薬物施設連絡会
- ▶ イッキ飲み防止連絡協議会
- ▶ 主婦連合会
- ▶ 全国マック協議会
- ▶ 公益社団法人 全日本断酒連盟
- ▶ 一般社団法人 日本いのちの電話連盟
- ▶ 公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
- ▶ 日本禁酒禁煙協会
- ▶ 一般財団法人 日本禁酒同盟
- ▶ 日本クリスチャン女性禁酒同盟 (矯風会 JWCTU)

**アルコール検知器協議会**





# 新型コロナウイルス関連



2020年3月17日  
アルコール検知器協議会

## 【アルコール除菌剤等によるアルコール検知器への影響について】

新型コロナウイルスの対策について、各社万全の体制で臨まれておりますが、その対応のひとつである「アルコール除菌剤によるクリーニング作業（除菌）」による影響と思われる、アルコール検知器の誤検知の発生が多く報告されております。アルコール検知器は文字通り「アルコールを検知する機器」ですので、これは誤検知ではなく正常にアルコールを検知している結果です。アルコール検知器は特性上環境雰囲気や測定者の周りに存在するアルコールに反応してしまう場合がありますので、アルコール除菌スプレーや除菌シート、次亜塩素酸消毒液等の使用はできるだけ避けてください。万が一使用された場合には、以下のような問題が発生する可能性が考えられます。

- 無飲酒時でも、周囲雰囲気中や測定者周りのアルコールに反応して数値が出る場合があります。
- 高濃度のアルコールに検知器が反応してしまった場合、正常状態に戻るまでかなりの時間を要する場合があります。
- 高濃度のアルコールや次亜塩素酸消毒液の影響を受けた場合、検知器（センサ）の耐久性、精度にも影響し、機器が故障する恐れがあります。

これらの問題は、その周囲雰囲気中のアルコール濃度やその影響時間等によっても、その症状はさまざまであり、一概に同一の症状が発生する訳ではありません。（1回OKであっても、必ず毎回OKになるとは限りません）。

なお、このような問題が発生した場合は、周囲にアルコールが無い環境での測定及び別の検知器での測定を実施して頂く必要があります。（ご使用者の運用/責任に準じた対応を実施して下さい）。

ただし、現状の新型コロナウイルスへの対応について、運行管理者の方から、「アルコール除菌剤等の使用を一切認めない」という訳にはいかない、というご意見も多く寄せられているのも事実です。

ご使用を希望される場合は、ご使用されている検知器メーカーにお問い合わせの上、管理者様の責任のもとご使用いただくことを重ねてお願い申し上げます。

何卒、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

2020年3月17日

全日本トラック協会および  
国土交通省自動車局安全政策課  
からの要望を受け、アルコール検知器  
の消毒や、室内エタノールによる誤検知  
について、注意喚起を行った。

# 全日本交通安全協会

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

全日本交通安全協会  
JAPAN TRAFFIC SAFETY ASSOCIATION

○ 会長あいさつ  
○ 全日本交通安全協会  
○ 事業  
○ 沿革

第59回交通安全国民運動中央大会  
主 幹 (一社)全日本交通安全協会 協 賛 庁 文部科学省 国土交通省  
第59回交通安全国民運動中央大会 (H31.1.16~17) [詳細はこちら](#)

NEWS | 着けよう反射材!! ~夜道の交通事故を防ぐには、歩行者自身の対策も大切です。~ 反射材で、ドライバーに目

○ トピックス

- 2019/10/15 日本宝くじ協会寄贈による交通安全教育車「宝くじ号」贈呈式を開催! 令和元年8月7日(水) 東京ビッグサイトで開催
- 2019/09/11 第54回交通安全全子供自転車全国大会の結果 埼玉県の本庄市立本庄東小学校が優勝
- 2019/08/01 令和元年 秋の全国交通安全運動のお知らせ 令和元年9月21日(土)~9月30日(月) (詳細は、内閣府の「令和元年 秋の全国交通安全運動推進要綱」をご覧ください。)
- 2019/07/19 令和2年使用 交通安全年間スローガン(標語)募集要項 令和元年9月30日(月)締め切り(消印有効)
- 2019/06/25 令和元年度交通安全ファミリー作文コンクールの募集について 令和元年6月20日(木)~9月11日(日)受付

全日本交通安全協会 自転車会員入会 および 自転車保険加入  
Web加入がお得! 詳しくはこちら

道路交通法の改正ポイント

ホームページ内の広報用 24時間365日 平日同等の対応

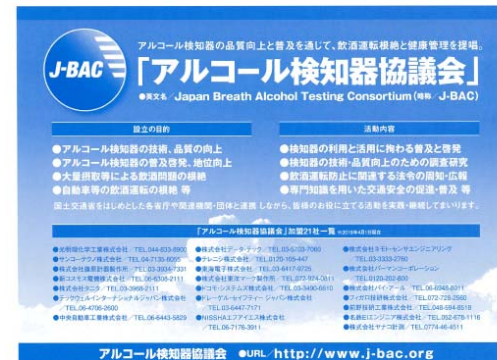
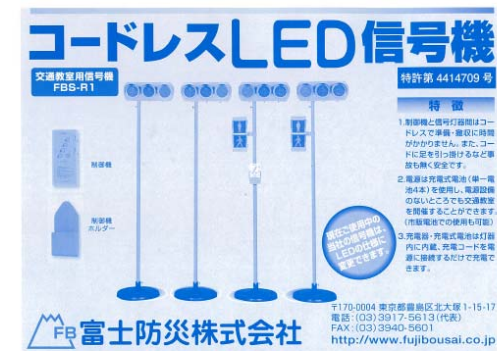
マイクロメイト岡山  
ALCOHOL検知器の品質向上と普及啓発 ~ アルコール検知器の ~ J-BAC アルコール検知器協議会

白ナンバー系の広報として、全日本交通安全協会へバナー広告掲載中

ウェブIT班の解析報告によれば、本バナーからの流入（効果）が確認された

# 東京都交通安全協会

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
<b>合計</b>			<b>175万</b>



2019年度で終了。2020年度の予算には計上しない。

# 展示会班 活動報告

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

計画	広報対象	費用 (概算)
1 運輸・交通システムEXPO2019(東京・大阪) 出展	運輸業界	0万円
2 7月 飲酒運転させないTOKYOキャンペーン	一般	0万円
3 10月 N A S V A安全マネジメントセミナー	運輸業界	4万円
4 11月 中央技術委員会全国大会	運輸業界	5万円
5 11月 バステクin首都圏	運輸業界	20万円
6 2月 中国バス協会事故防止対策委員会	運輸業界	2万円
計		31万～35万円

実績と	広報対象	費用 (概算)	完・未完
1 運輸・交通システムEXPO2019(東京・大阪) 出展	運輸業界	0万円	終了
2 7月 飲酒運転させないTOKYOキャンペーン	一般	0万円	終了
3 8月 福岡飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019	一般	0万円	終了
4 10月 N A S V A安全マネジメントセミナー	運輸業界	4万円	終了
5 11月 中央技術委員会全国大会	運輸業界	5万円	終了
6 11月 関西物流展	運輸業界	0万円	終了
8 2月 中国バス協会事故防止対策委員会		2万円	中止
計		実積は9万円	

# 2019年度 7イベントに参画

「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

5月



「アルコール検知器協議会」は、東京ビッグサイトで開催(5/29～31)されました「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

7月



「アルコール検知器協議会」は、7月2日「有楽町駅前広場」で行われた「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

# 上期 イベント参画

---

「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。

---

8月



「アルコール検知器協議会」は、8月25日 福岡市役所で行われた「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。

福岡市では飲酒運転検挙者における20代の割合が多く、飲酒運転防止に取り組む高校生のブース等もあり、飲酒運転に対する危機感が伝わる熱気あふれる集いでした。

「アルコール検知器協議会」のブースにも多くの家族連れが訪れ「検知器をはじめて触った」という声も聞かれました。

---

「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたしました。

---

10月



「アルコール検知器協議会」は、10月9日(水) 東京国際フォーラムにて行われました「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたしました。

# 下期 イベント参画

---

「第68回 中央技術委員会全国大会」に参加いたしました。

---

10月



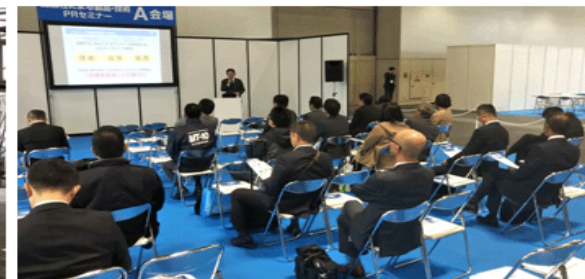
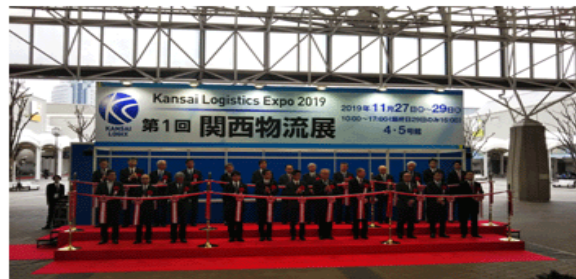
「アルコール検知器協議会」は、10月31日(木) 公益財団法人 日本バス協会開催「第68回 中央技術委員会全国大会」に参加いたしました。

---

【セミナー】「第1回 関西物流展 (11/27 ~ 11/29)」にて開催いたしました。

---

11月



「アルコール検知器協議会」では、飲酒運転の撲滅に向けた取組として「セミナー」や「講演」等を行っています。

「第1回 関西物流展 (11/27 ~ 11/29)」(インテックス大阪)にて、セミナーを開催させて頂きました。

# 教育班 教育活動による広報



## 飲酒運転防止インストラクター

飲酒運転防止インストラクター資格を持った専門員を講習会、安全啓蒙活動開催時に派遣します。



J-BACの認知度向上、検知器の普及啓発のため、「飲酒問題」「アルコール検知」等関連講習の依頼があれば、積極的に応じて、実績を積み上げてゆく。

## 2019活動方針

- ✓ ASKのコンテンツに頼らず、検知器業界ならではの、教材・講習内容の制作、詰め。
- ✓ 講習内容には、必ず、協議会活動や、検定制度の説明を入れる
- ✓ 協議会認定インストラクター・講師、というコンセプト案





# 飲酒教育、本格的に活動を開始しました

「飲酒運転根絶に関する研修会」に登壇し、講座を行いました。



「アルコール検知器協議会」では、飲酒運転の撲滅に向けた取組として「セミナー」や「講演」等を行っています。

11月1日（金）に北海道の宗谷総合振興局開催の「飲酒運転根絶に関する研修会」に登壇し「アルコールの基礎知識」等について講座を行いました。

## 【セミナー開催 (11/5)】 「茨城県交通安全協会 石岡地区交通安全協会」様



「アルコール検知器協議会」では、飲酒運転の撲滅に向けた取組として「セミナー」や「講演」等を行っています。

「茨城県交通安全協会 石岡地区交通安全協会」様に、下記日程でセミナーを開催させて頂きました。

---

【セミナー（1/16）】「令和元年度飲酒運転根絶に関する研修会」にて開催いたしました。

---



(※ドライブシミュレータによる飲酒運転疑似体験)

「アルコール検知器協議会」では、飲酒運転の撲滅に向けた取組として「セミナー」や「講演」等を行っています。

北海道渡島総合振興局、渡島地区交通安全推進協議会、公益社団法人北海道交通安全推進委員会 主催の「令和元年度飲酒運転根絶に関する研修会」にて「企業の安全と従業員の健康を守るためのアルコール基礎知識」としてセミナーを開催させて頂きました。

1開催あたり、平均50人× 5開催 = 250人

年間250人に、アルコール検知器協議会の活動や 認定制度を知ってもらうことができる

# 研修内容



ご家族・従業員・地域住民の健康・安全を守るためのアルコールの基礎知識



アルコール検知器協議会  
〇〇〇〇



企業の安全と、従業員の健康を守るための  
**アルコールの基礎知識**



アルコール検知器協議会  
飲酒運転防止インストラクター 〇〇〇〇

**純アルコールを20g(1単位)含む酒類**  
～あなたがよく飲むお酒はどれですか～

 ビール (度数5%)	 日本酒 (度数15%)	 ウィスキー (度数43%)	 ワイン (度数12%)	 チューハイ (度数7%)	 焼酎 (度数25%)
500ml 目安: 中ビン1本 中ジョッキ1杯	180ml 目安: 1合	60ml 目安: ダブル1杯	200ml 目安: 小グラス2杯	350ml 目安: 350ml1本	100ml 目安: 小グラス半分

例えばー

- ビールを中ジョッキで2杯
- 日本酒を1合

**3単位 (60グラム)**

20

企業のアルコール問題とは  
～社用車、業務中の飲酒運転防止の一步先～

**残酒通勤 (マイカー)**



**アルコール健康障害**



# もちろん、協議会のアピールも



## どんなアルコールチェッカーがよいのか

～一定の技術要件を満たした、認定機器～

 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-48E</b></p> <p>検知器の「ハードウェアとソフトウェア」を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>	 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-38E</b></p> <p>認定機器の品質管理に力を入れ、ハードウェアとソフトウェアの両方を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>
 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-330</b></p> <p>ソフトウェアとハードウェアの両方を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>	 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-1880E</b></p> <p>検知器の品質管理に力を入れ、ハードウェアとソフトウェアの両方を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>
 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-300E</b></p> <p>検知器の品質管理に力を入れ、ハードウェアとソフトウェアの両方を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>	 <p><b>株式会社社会工学社(SOCAC) SC-490E</b></p> <p>検知器の品質管理に力を入れ、ハードウェアとソフトウェアの両方を厳密にチェックするハードウェアがあります。アルコール濃度を検知する仕組み(検知方式)は、高精度な検知器にのみ電圧調整、校正が行われ、「検知率」が100%とされています。</p> <p>▶詳しくはこちら</p>

# 航空業界では、飲酒教育が法制化された

航空局 安全管理システムの構築に係る一般指針(7月5日改正)

## 3.2.3 安全統括管理者の権限及び責務に関する事項

安全統括管理者とは、事業者内の安全管理の取組を統括的に管理する責任を有する者であることから、安全に関する重要事項について経営の責任者に報告することや事業者内の飲酒対策を総括管理すること等、安全統括管理者が果たすべき具体的な役割を明らかにすること。また、**アルコール教育やアルコール検査等飲酒対策を含む安全施策・安全投資の決定などの安全に関する重要な経営判断に直接関与する**ことなど、社内で付与される権限及び責務を明らかにすること。

3.3.5 教育及び訓練に関する事項事業者自身の安全管理システムを社内に浸透させるための教育、安全啓発セミナー、航空機乗組員の疲労リスクの管理に係る教育<sup>\*15</sup>、**アルコールに関する教育**<sup>\*16</sup>、ヒューマンファクターズに関する訓練等を定め、これらを実施することにより、組織内の安全文化の醸成を図ることを明らかにすること。

\*15：教育内容には一般的な睡眠衛生や航空分野における疲労に関する基本的な事項・乗務への影響

\*16：教育内容は、「航空従事者の飲酒に関する基準について」(平成31年4月9日、航空従事者の飲酒基準に関する検討会)の内容を十分に反映させることとし、航空機乗組員、客室乗務員、運航管理者、運航管理担当者、運航管理補助者、整備従事者、乗務割を担当する職員その他、**関連する管理部門・経営層等の飲酒対策に関連する全ての職員に対し定期的に実施すること。**

# 2019年10月 「代謝は4g」通達（by 航空局）

航空局は、残酒の影響を甘く見ている操縦士等航空事業者へ、アルコールの代謝は思ったよりも時間がかかることを、通達（啓発）した。

アルコールの分解は遅く、平均的には1時間に

男性で0.8ドリンク（8g）  
女性で0.6ドリンク（6g）

程度である。これは、男性でビール コップ（200mL）1杯、女性でコップ4分の3にあたる。

<https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/h21/pdf/ref/386-395.pdf>

H21年3月 常習飲酒運転者の飲酒運転行動抑止に関する調査研究報告書  
独立行政法人国立病院機構 久里浜アルコール症センター 松下 幸生 資料より

令和元年10月  
国土交通省航空局  
安全部運航安全課

## 1. 改正の背景

操縦士による過度な飲酒により乗務前の検査でアルコールが検知される事案が連続して発生したことを受け、操縦士において適正な飲酒量に関する理解・意識の徹底を図り、同種事案を防ぐための追加の飲酒基準を設けるため、運航規程審査要領細則の改正を行う。

## 2. 改正内容

- 「運航規程審査要領細則」（平成12年1月28日付空航第78号）を改正し、以下の点を追加する。
  - ・航空機乗組員及び客室乗務員に対して、禁酒時間（飛行勤務開始前8時間）以前であっても飛行勤務開始時に酒気帯び状態となるおそれのある過度な飲酒を行った場合に飛行勤務を行うことを禁止するとともに、アルコール分解能力を1時間あたり4g<sup>※</sup>として算出したアルコール量を目安として許容される飲酒量が運航規程に記載されていること

（※ 日本アルコール関連問題学会等による推奨値を元に設定）

## 3. スケジュール

公布・施行：令和元年10月中（予定）



# ウェブ・IT班

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

上期の 実績	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 外部検定の最新化</li><li>✓ 展示会、検定、業界話題のNew着増</li><li>✓ 会員向けサイト整備</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ アクセス解析</li><li>✓ コンテンツ、見栄えブラッシュアップ （現行の定期メンテ月額15000円の事務局費用で賄っているが、素材購入等、見栄え強化の予算として20万執行予定）</li></ul>

# 外部検定機器 (10 / 1)

## 認定機器(外部検定)一覧

(2020年3月3日時点で「認定機器」として合格しているのは7団体,26機種となります。)



(株)タニタ「アルプロ FC-900」  
認定番号：JB10001-1

測定の少ないユーザーに最適なシンプルモデルです。「レンタルシステム」により、点検や支払の煩わしい管理を簡略化、さらに低コストを実現しました。高精度・高品質なアルコール検知器を手軽に導入することができます。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1000/1000D」  
認定番号：JB10001-2/JB10001-3

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1008D」  
認定番号：JB10001-4

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1200/FC-1200F」  
認定番号：JB10001-5/JB10001-6

設置型でも単独でも使える汎用高性能モデルです。センサー寿命もロングライフで高いコストパフォーマンスを実現し、特に設置管理拠点多く、測定回数が多い事業者様向け。サーマルプリンター出力など多彩なニーズに対応します。

[> 詳しくはこちら](#)



東海電子(株)「ALC-PRO II T-ALC-P200」  
認定番号：JB10001-7

一般企業や運輸企業の出発管理向けに特化した、アルコール検知器システムです。顔写真付き測定結果・測定前後の動画が1年以上記録されます。不正防止機能が充実した、標準モデルでありながら、IC免許証・血圧計との連動、IT点呼等、拡張性にすぐれた入門機です。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)バイアル「アルキラーW」  
認定番号：JB10001-8

アルキラーPlusに日本製高精度センサーを搭載した電気化学式検知器が登場！スマートフォン連動型アルコールチェックシステム「いつどこでだれが検知したのか」をwebで確認し、確実な管理と不正防止に活用できます。

[> 詳しくはこちら](#)



フィガロ技研(株)「アーゴプロ FALC-11」  
認定番号：JB10001-9

運輸業務管理に最適な機能を搭載したアルコール検知器です。事務所据置型、遠隔地管理用いずれの使い方もでき、付属のPC管理用ソフトで検査結果を一元管理することが可能です。

[> 詳しくはこちら](#)



サンコーテクノ(株)  
「多機能業務用アルコール検知器 ST-3000」  
認定番号：JB10001-10

高性能センサー「燃料電池式センサー」を搭載。まずは、検知器単体から導入し、PC管理できるGuardian NEXT及びIT点呼システムGuardian NETまでシステムアップをすることが可能です。お客様の様々なシーンで活用できる検知器です。

[> 詳しくはこちら](#)





(株)パイアール「アルキラーPlus」  
認定番号：JB10001-11

iOS・Android対応のスマートフォン運動型アルコールチェックシステム。  
シンプルな操作とコンパクト・スリム設計！  
低濃度での感度が高い半導体ガスセンサー検知器で「いつでもどこでだれが検知したのか」をwebで確認。  
確実な管理と不正防止に活用できます。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアック・アルファネクスト SC-403」  
認定番号：JB10001-13

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードなパーソナルタイプです。アルコールガス感度が飛躍的に向上(当社比)した他、充電電池も使用可能な省電力設計。吹きつけ方法も「直接」「マウスピース」「ストロー」を選択でき、さらに測定結果を15件まで保存可能です。

> 詳しくはこちら



東海電子(株)「ALC-miniIV T-ALC-MiniIV」  
認定番号：JB10001-15

運輸業及び一般企業向けに特化した、IC免許リーダーおよびプリンターを一体化したアルコール検知器です。IC免許証をかざすだけで測定が開始され、飲酒測定と同時に免許証の有効期限をチェックすることができます。日時や測定結果、有効期限は感熱紙に印刷され、また結果はUSBに保存することも可能です。

> 詳しくはこちら



フィガロ技研(株)  
「フーゴスマート FALC-21」  
認定番号：JB10001-17

“測る、見る”に機能を絞った単機能タイプです。  
様々な成分が含まれる呼気中から、アルコール成分に対して優れた選択性を発揮する電気化学式ガスセンサを搭載した、高精度、且つ手頃なタイプです。様々な業務管理に利用可能です。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアック・アルファ SC-402」  
認定番号：JB10001-12

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードなパーソナルタイプです。アルコールガス感度が飛躍的に向上(当社比)した他、充電電池も使用可能な省電力設計。吹きつけ方法も「直接」「マウスピース」「ストロー」を選択できます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「EA-100」  
認定番号：JB10001-14

センサーキャップを持ち上げて電源ON。  
息を吹きかけるだけで簡単に呼気アルコール濃度を確認できます。  
携帯に便利で、ワイシャツの胸ポケットにもすっきり収まるサイズです。

> 詳しくはこちら



東海電子(株)  
「ALC-Mobile II T-ALC-MB200」  
認定番号：JB10001-16

一般企業や運輸企業に特化した、アルコール検知器です。スマートフォンと接続することで、遠隔地での測定、テレビ電話や顔写真のメール送信が可能になります。運輸業界では遠隔地ドライバーとの電話点呼で多く使われ、一般企業では、早朝出勤者の確認等でも使われています。

> 詳しくはこちら



フィガロ技研(株)  
「フーゴスマート Bt FALC-31」  
認定番号：JB10001-18

同フーゴシリーズにBluetooth機能を搭載したアルコール検知器です。  
スマートフォンやタブレットと連携させることにより遠隔地測定が可能で単機能タイプ以上に、様々な業務管理に利用可能です。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)「ソシアク SC-103」  
認定番号：JB10001-19

スタンダードな自己管理型パーソナルタイプです。シンプルで使いやすく、SOCIACシリーズは業務用アルコール検知器として、法令に的確に対応し、多くの協会・官公庁・企業様でご採用いただいております。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアク・エックス SC-202」  
認定番号：JB10001-20

自己管理型パーソナルタイプにアラーム機能やエラー表示など、さらに使いやすい機能が加わったグレードアップタイプです。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアク・プロ SC-302」  
認定番号：JB10001-21

運送事業者様の運行管理に的確に対応したデータ管理型の業務用アルコール検知器です。SOCIACシリーズの実績・品質・信頼性・使いやすさをベースに開発。据置用としてや持ち出し用としてなど、状況に合わせた使い方が可能です。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「HC-211」  
認定番号：JB10001-22

センサー交換式のモデルです。シンプルで使いやすく、センサー交換も容易なため、長くお使いいただけます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「アルプロ HC-310」  
認定番号：JB10001-23

センサーキャップを持ち上げて電源ON、息を吹きかけるだけで簡単に呼気アルコール濃度を確認できます。アルコールが検知された場合、バックライトが赤く点灯してアラートになるため、結果表示がわかりやすくなります。

> 詳しくはこちら



テックウエルインターナショナル(株)  
「FT-001/i-Checker」  
認定番号：JB10001-24

携行記録式の業務用アルコールチェッカーです。標準仕様の管理ソフトが付属されており、SDカードを用いてデータ管理が可能です。

> 詳しくはこちら



テックウエルインターナショナル(株)  
「FT-001A/i-Checker II」  
認定番号：JB10001-25

携行記録式の業務用アルコールチェッカーです。電話を通して確認出来るブザー音で、電話点呼の遂行が可能。CSVファイル出力機能付きの管理ソフトが付属されており、SDカードを用いてデータ管理が可能です。

> 詳しくはこちら



テックウエルインターナショナル(株)  
「FT-003/i-Checker III」  
認定番号：JB10001-26

携行記録式の業務用アルコールチェッカーです。内部メモリーを搭載し据え置き型としても利用できます。付属のUSBケーブルにて直接PCでの管理が可能。CSVファイル出力機能も標準装備。

> 詳しくはこちら

# 活動新着・業界新着を増やす

2019.08.19

8月25日 福岡市の「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたします。

2019.07.03

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

2019.06.26

7月2日「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたします。

2019.06.03

「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

2019.05.15

運輸・交通システムEXPO2019の出展のお知らせ

2019.05.15

アルコール検知器の測定下限値につきまして

2019.10.17

「認定機器」2機種を「認定機器(外部検定)一覧」に追加掲載いたしました。

2019.10.08

【国土交通省】鉄軌道運転士の飲酒に関する基準等が改正されました。

2019.10.01

「認定機器(外部検定)一覧」に「認定機器」を掲載いたしました。

2019.09.26

10月9日「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたします。

2019.08.26

「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。

2019.08.19

8月25日 福岡市の「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたします。

**官公庁班、展示会班、教育班等の活動活性化によって  
平均 月2つの新着をあげられるようになってきた**

# 2019年9月～アクセス解析開始

## 2.来訪者数（1/14～2/13）

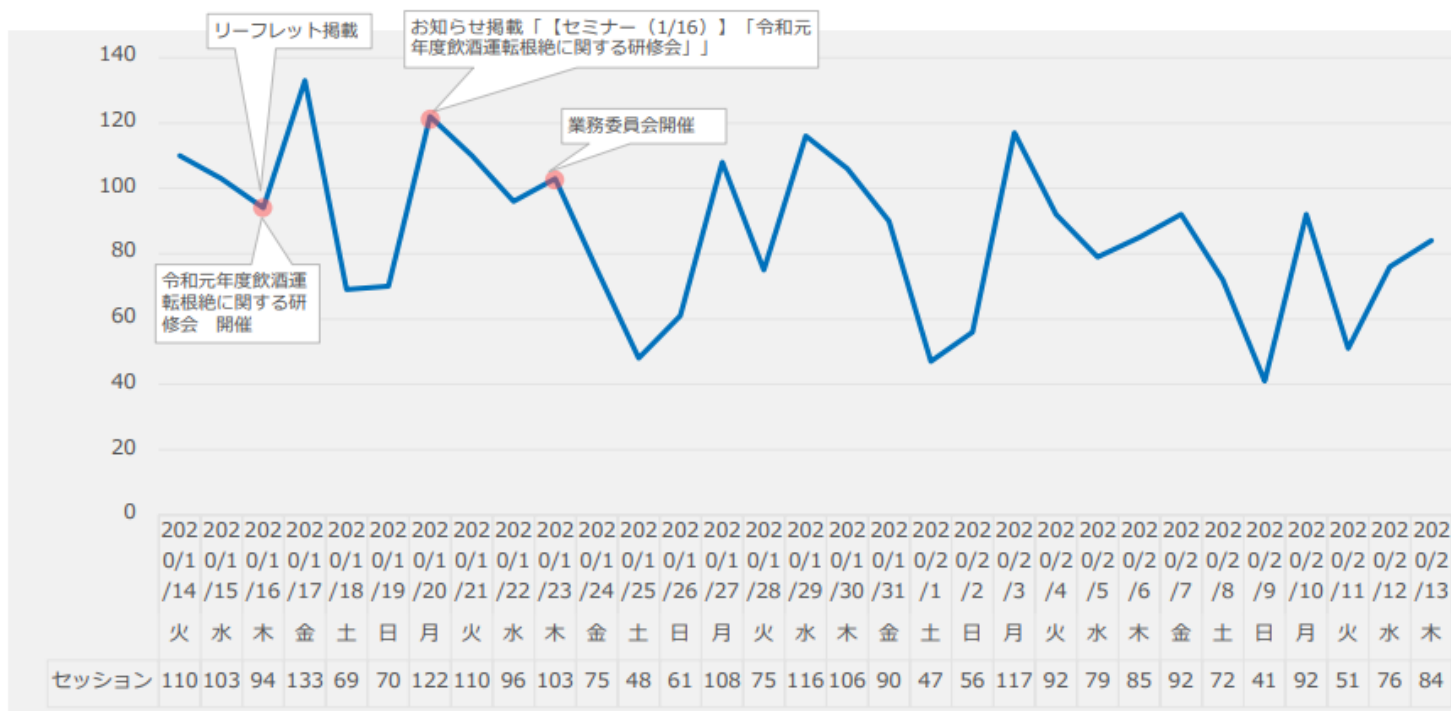
来訪者数合計：**2,673**人

一日の来訪者数：**平均約86.2**人

前回との比較で  
一日約16%低下

前回結果(11/15～1/13)

- ・来訪者数合計：6,126人
- ・一日の来訪者数：平均約103人



# 検索キーワード等

測定期間中のキーワードは515件。表示回数及びクリック数の多いもの上位120件のみ掲載。

上位は「検知器」「数値」、続いて「警察」「体調」「出ない方法」などの検索キーワードである。

順	検索キーワード	クリック数	表示回数
1	アルコールチェッカー 警察	94	456
2	アルコールチェッカー 精度	91	220
3	アルコール検知器協議会	68	88
4	アルコール検知器	59	2631
5	アルコールチェッカー飲んでないのに反応	32	138
6	アルコール検知器 飲んでないのに出る	31	325
7	アルコール検知器 精度	28	95
8	j-bac	22	31
9	アルコールチェッカー 数値	20	1154
10	アルコール検知器 警察	20	135
11	アルコール チェッカー 反応 体調	16	113
12	アルコールチェッカー 飲んでないのに	15	26
13	アルコール検知器 数値	14	209
14	アルコールチェッカー 反応するもの	13	87
15	アルコール検知	11	222
16	警察 アルコールチェッカー	11	55
17	警察 アルコール検知器	11	38
18	アルコールチェッカー 信頼性	11	19
19	アルコールチェッカー 引っかかる	9	59
20	アルコールチェッカー 0.05	9	46
21	アルコール検知 数値	9	41
22	アルコールチェッカー 期限	9	12
23	アルコール検査 0.05	8	50
24	アルコール チェッカー の正しい使い方	8	25
25	アルコールチェッカー 使い方	7	76
26	アルコールチェッカー 反応	7	18
27	アルコールチェッカー 口臭 反応	7	17
28	アルコール 検知	6	53
29	アルコールチェッカーに反応しない方法	5	128
30	アルコールチェッカー 飲んでないのに出る	5	33
31	アルコールチェッカー精度	5	10
32	アルコールチェッカー 精度 警察	5	8
33	アルコール検知器 出ない方法	4	284
34	アルコール 0.05	4	86
35	アルコールチェッカー 警察用	4	37
36	交番 アルコールチェック	4	37
37	警察 アルコールチェック	4	24
38	アルコール検知 0.05	4	15
39	アルコールチェッカー 使用期限	4	15
40	警察のアルコール検知器	4	11
41	アルコール測定器	3	125
42	タニタ アルコールチェッカー 精度	3	116
43	アルコール 検知器	3	97
44	アルコールセンサー	3	88
45	アルコール検査機 数値	3	21
46	アルコール 0.05mg	3	16
47	アルコールチェッカー 反応しない	3	14
48	アルコールチェッカー 飲んでないのに反応	3	9
49	飲酒検知器	2	268
50	アルコールチェッカー おすすめ	2	63
51	アルコールチェック 罰則	2	33
52	アルコールチェッカー 警察仕様	2	7
53	国土交通省 アルコール検査 鉄道	2	6
54	アルコールチェッカー 認定	2	5
55	アルコール検査機	1	355
56	アルコール検知器 ごまかし方	1	278
57	アルコールチェック 数値	1	150
58	アルコールチェック 基準	1	147
59	アルコール探知機	1	65
60	アルコールチェッカーの測定結果に影響を与える物質	1	44

# 海外班

## (他国の飲酒問題政策や海外メーカー動向)

- ✓ 海外の、検知器や交通安全がからむ展示会の分析・調査
- ✓ 9月、カナダの国際展示会ICADTS参加・レポート

名前	日程	会場	テーマ	企業(出展者)	企業(来客)
ICADTS 2019	8月18日～21日	エドモントン、アルバータ州	薬物濺射と飲酒運転と交通事故に関する政策やシステム	300人以上の交通安全業界の専門家	運輸業サービスプロバイダー
セグッド2019	8月27日～29日	サンタ・イゴ、パリ	道路交通安全や道路セキュリティ	セキュリティ(安全、安心)業界500社以上	公的セクター、民間セクターにおける災害対策・労働安全衛生関係者
測定ワールド2019	9月24日～26日	パリ、フランス	計量・計測業界のすべての人へ	光学機器や視覚機器、計量・測定機器等230以上のプレイヤー	3000人の来客
コーチとバス UK 2019	10月2日～3日	バーミンガム、イギリス	バス業界(マイクrobus、ツアーバス)向けソリューション	自動車産業と測定器企業200社以上	運輸企業に関する56000人程度の来客
IACP 2019	10月27日～29日	シカゴ、イリノイ州	法規制に関するさまざまな業界団体の連携や教育	650社にも及ぶ警察当局向けのシステムや機器メーカー	公共安全に関する14000人の来客者
MILPOL 2019	11月19日～22日	パリ、フランス	国土安全保障と安全性	53国から1005の出展(代表的な官公庁やセキュリティ産業)	151国からの政策担当者、29039人



- ✓ 海外の酒気帯び・飲酒基準
- ✓ 米国の交通事故
- ✓ EUの交通事故
- ✓ 台湾の飲酒規制

会員のみなさま

1年間、ご協力有り難うございました。





**アルコール検知器協議会**  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

# アルコール検知器協議会 2020年度 (2020年4月-2021年3月)

## 業務委員会 活動計画

2020年4月16日

日本アルコール検知器協議会 第6回定時総会





# アルコール検知器協議会とは



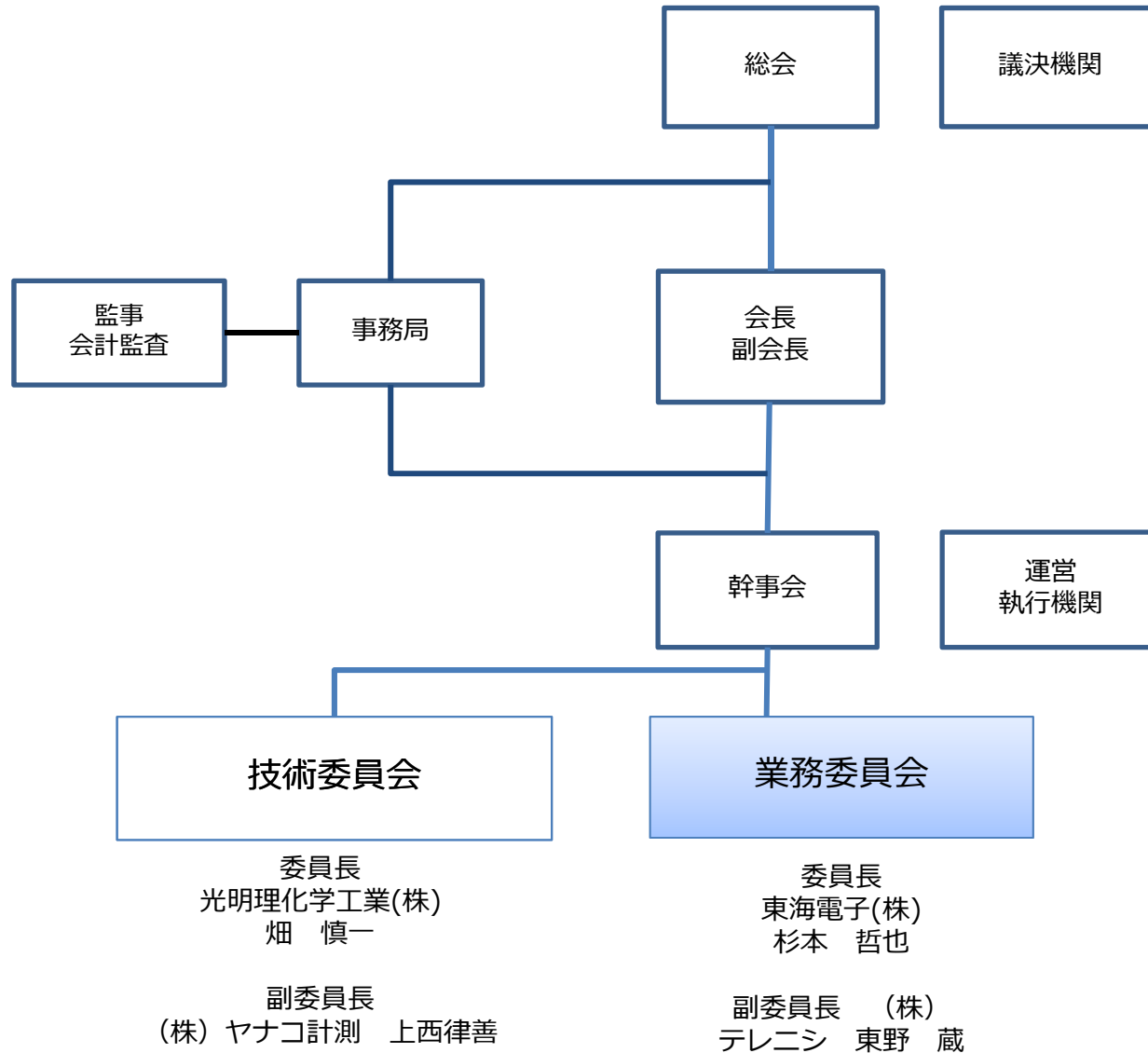
## 第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題や自動車等の飲酒運転の根絶に寄与することを目的とする。本会は、営利を目的としない組織である。



# 2020年の組織と機関



# 業務委員会の役割

会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	○	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		○
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	○	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	○	○
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	○	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	○	○
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	○	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	○	



# 2018-2020

- ✓ 2018年度は、外部検定スタート、新WEB&運営IT化、JIS化検討着手



- ✓ 2019年度は、外部検定の広報、認知活動の本格化 JIS化可否判断

J-BAC アルコール検知器検定規格 (別冊)

規格文番号: JB10001-2017 (案)

アルコール検知器協議会  
検定委員会

2017年12月10日



- ✓ 2020年度は、J-BACの意義と検定が認知され、JIS活動具体化



# 2018-2020活動計画

会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2018	2019	2020
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→		
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→		
	新検定の広報とウェブ拡充	→		
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→		
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動		→	→
	国土交通省プラン2020「飲酒運転根絶」		→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→		
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）		→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充		→	
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）		→	
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）		→	
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言		→	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充実化	→		



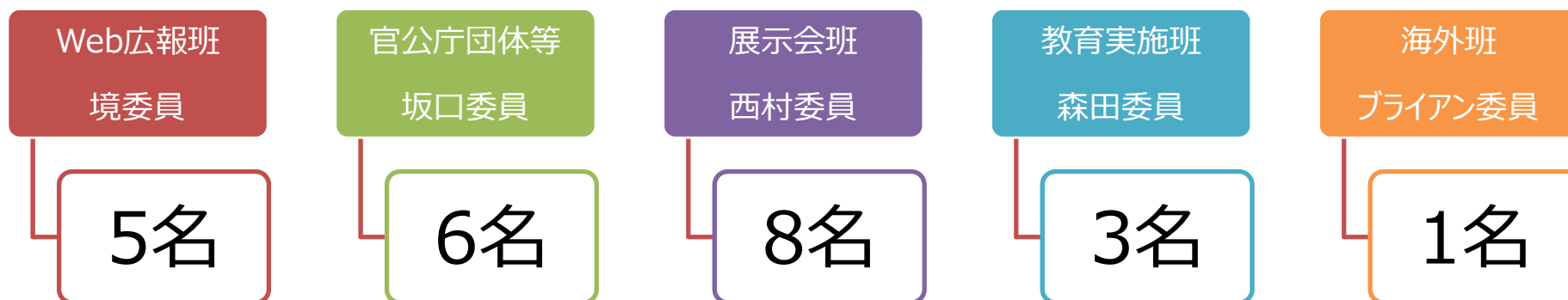
# 業務委員 総勢 16社 30名

企業名	登録人数
中央自動車工業株式会社	5
(株)パイ・アール	3
東海電子株式会社	3
テレニシ株式会社	3
サンコーテクノ(株)	2
(株)ネモト・センサエンジニアリング	2
(株) タニタ	2
フィガロ技研(株)	2
名鉄 E I エンジニア(株)	1
ドコモ・システムズ株式会社	1
新コスモス電機 (株)	1
株式会社東洋マーク製作所	1
(株)篠原計器製作所	1
テックウェルインターナショナルジャパン (株)	1
株式会社データ・テック	1

人数順 2020.2.25 時点



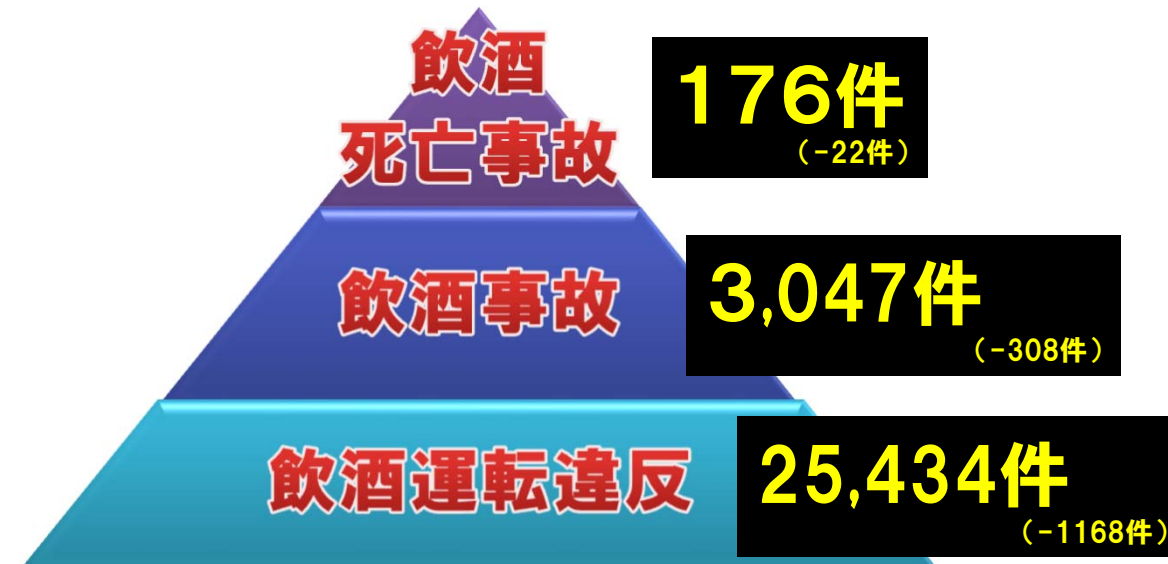
# 2020年度 業務委員会 体制図



(予定)



# 令和1年 全国の飲酒運転事故件数



○令和元年交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について  
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00130002&tstat=000001027458&cycle=7&year=20190&month=0>  
○令和元年中の交通事故の発生状況  
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00130002&tstat=000001027457&cycle=7&year=20190&month=0>  
○令和元年における交通死亡事故の発生状況等について  
[https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/jiko/R1shibou\\_tokucyo.pdf](https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/jiko/R1shibou_tokucyo.pdf)

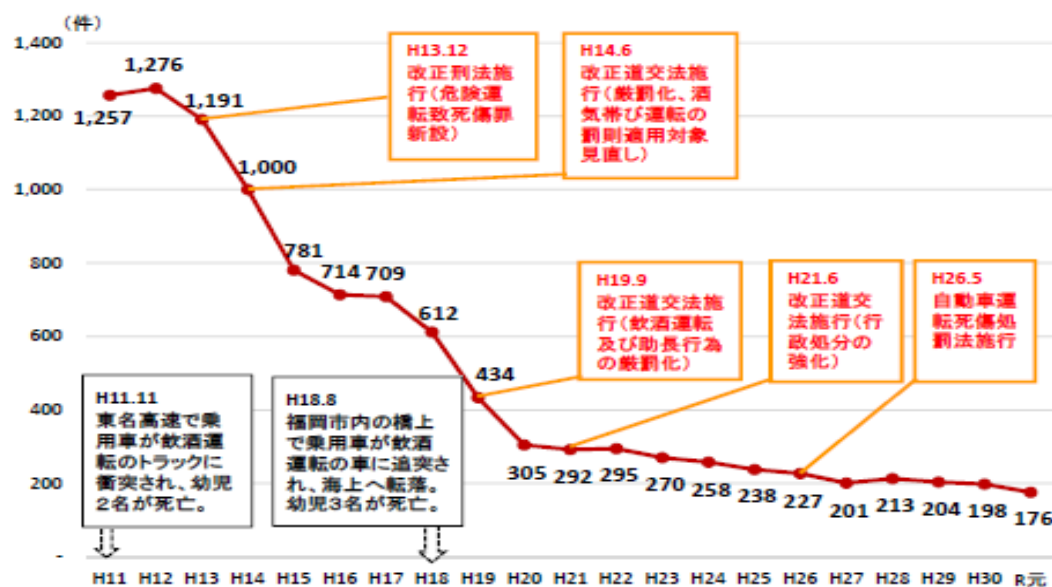
まあ、だいじょぶだろ... 警察いねーだろ... おれ運転うまいし...  
この時間だったら... 今まで平気だったし... タクシー代きついなあ...  
ウチすぐソコだし...

飲酒運転潜在数は、10万人？20万人？ それは誰も知らない…（本人だけが知っている）



## 6 飲酒運転による交通事故に係る分析

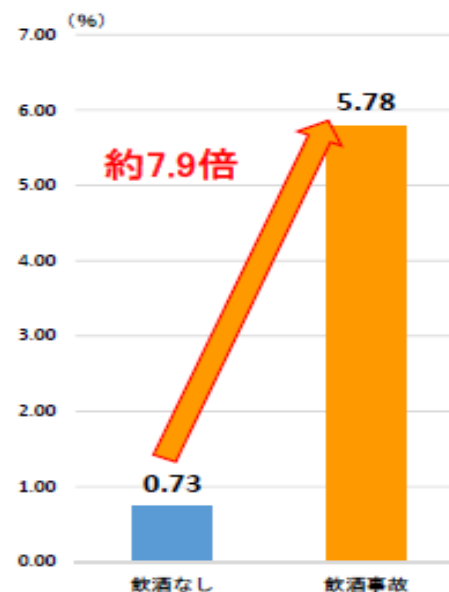
飲酒死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。  
 ・ 「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。

- ・ 12月における取組の強化  
 20件 → 13件(-7件)、年間では-22件

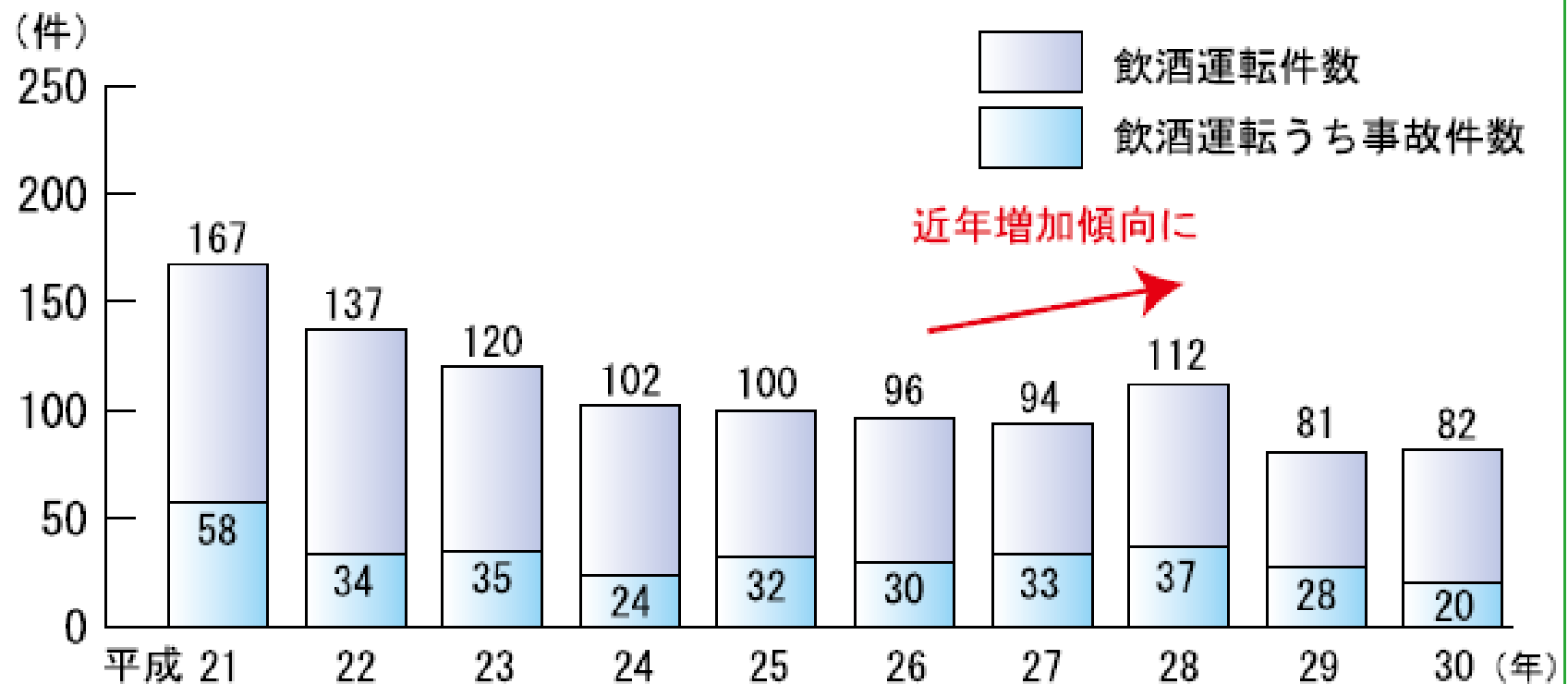
死亡事故率比較 (令和元年)



(注) ・ 調査不能は除外した。

# トラック、前年比増

図1 事業用トラック飲酒運転及び事故件数の推移



# アルコール検知器の義務化

✓ 2011年 バス・タクシー・トラック

✓ 2019年 航空、鉄道

✓ 2020年 4月（予定） 海運

# 2020年度 業務委員会 主要テーマ

## 1. 未接触の官庁、業界団体との接触（展示会含む）

- ✓ 検定制度の認知
- ✓ 教育啓発活動の認知
- ✓ リンク増交渉

## 2. ウェブサイト情報量

- ✓ 検定update 更新監査結果（19機種分）
- ✓ 展示会/イベント
- ✓ 教育啓発（研修コンテンツのアピール）
- ✓ 統計・法令情報（最新かつ体系的に整理）



## 2020年度 業務委員会 開催（案）

	開催候補日	東京	大阪
定時総会	4月16日	○	
第1回	2020年7月14日		○
合同 (上期)	2020年10月14日	○	
合同 (下期)	2021年2月24日		○

- ✓ 各作業班ごとに、活動結果を年3回、合同委員の場で報告する。
- ✓ 開催場所は、東と西で交互に  
(30名前後の会議室を持つ企業様に、会議室をご提供いただく)



# 外部検定開始をきっかけに 未接触官庁・団体への認知活動

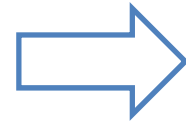
## J-BACの活動アピール



### 飲酒運転防止インストラクター



飲酒運転防止インストラクター資格を持った専門員を講演会、安全啓蒙活動開催時に派遣します。



国交省（自動車）

国交省（航空）

国交省（鉄道）

国交省（船舶）

トラック協会

バス協会

ハイヤータクシー協会

**定期航空協会**

**日本旅客船協会**

**日本民営鉄道協会**

**経産省**

**産総研**

**消費者庁**

**警察庁**



# 未接触団体（非自動車運送分野）への広報

定期航空協会  
The Scheduled Airlines Association of Japan

ホーム 概要 提言 お知らせ プレスリリース  
HOME PROFILE PROPOSAL INFORMATION PRESS RELEASE

概要  
Profile

名称 定期航空協会 (THE SCHEDULED AIRLINES ASSOCIATION OF JAPAN)

JAJA  
JAPAN AIR CARGO FORWARDERS ASSOCIATION  
一般社団法人 航空貨物運送協会

迅速で質の高い  
航空貨物輸送サービス

IATAディプロマ新規受講登録(Enroll)

トピックス ディプロマトピックス

会場案内地図

会員専用コンテンツ

会員専用ページ

実績統計報告・ディプロマ登録

一般社団法人  
日本旅客船協会  
Japan Passenger Ship Association

会員専用ログインページ 文字サイズ

トップページ 初めて船に乗る方 会員一覧 日本旅客船協会について

協会概要

当協会は、国内で旅客船を運航する事業者(会社、個人、自治体、その他)のほとんど全てを会員とする全国規模の団体として昭和21年2月に設立され、昭和29年4月に公益法人として設立許可を受け、その後、公益法人改革に伴って一般社団法人に移行し、現在に至っております。

当協会は、旅客船事業の改善発展を図ることを、我が国の海より利用可能な交通手段の発展を目的としており、次のような事業を行っております。

旅客船事業に関する調査研究  
旅客船事業に関する啓蒙、推進ならびに情報の収集及び提供  
旅客船事業の発展に関する調査  
旅客船事業に関する、国、都道府県その他関係機関に対する情報または資料並びにこれらの機関との連絡  
旅客船事業に関する調査研究  
旅客船事業に関する会員間の連絡調整  
海上観光の振興

ひとと環境がやさしいみんてつ  
一般社団法人  
日本民営鉄道協会

GLOBAL SITE サイトマップ

ホーム 協会のご案内 民鉄各社紹介 民鉄各社の取り組み 環境への取り組み 鉄道豆知識

みんなてつに乗ってエコライフ  
～鉄道は人と環境にやさしい乗り物です～

みんなてつがエコ!

みんなてつキッズ 鉄道体験学習 デジタル教材

鉄道のある風景 ご紹介の鉄道会社: 紀州鉄道株式会社

民鉄各社からのお知らせ

未接触の業界団体へ 認知活動を行う。



# 未接触団体（国交省以外）への広報



協議会の存在を認知させ、飲酒による健康問題や飲酒運転等の諸問題について、検討会やヒアリングで頼られる存在になる（地位向上）。そのためには、活動実績や、価値ある情報提供のストックが必要である。



# アルコール検知器検定制度の広報



トップスライド、  
は半期ごとに  
①検定品 一覧表  
②大きな法令改正  
等、リフレッシュする

検知器協議会ならではの、情報提供を心がける  
アルコール検知器、飲酒問題といえど→「J-BAC」となるように



# 活動活性化・活発化 = 新着増

「認定機器」3機種を「認定機器(外部検定)一覧」に追加掲載いたしました。

**(株)タニタ「アルプロ FC-900」**  
認定番号: JB10001-1

測定が少ないユーザーに最適なシンプルモデルです。「レンタルシステム」により、点検や支払の煩わしい管理を排除化、さらに低コストを実現しました。高精度・高品質なアルコール検知器を手軽に導入することができます。

[詳しくはこちら](#)

**(株)タニタ「アルプロ FC-1000/1000D」**  
認定番号: JB10001-2/JB10001-3

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

[詳しくはこちら](#)

**(株)タニタ「アルプロ FC-1008D」**  
認定番号: JB10001-4

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

[詳しくはこちら](#)

**(株)タニタ「アルプロ FC-1200/FC-1200F」**  
認定番号: JB10001-5/JB10001-6

設置型でも単独でも使える汎用高性能モデルです。センサー寿命もロングライフで高いコストパフォーマンスを実現し、特に設置管理観点が多く、測定回数が多い事業者向け。サーマルプリンター出力など多彩なニーズにお応えします。

[詳しくはこちら](#)

**東海電子(株)「ALC-PROII T-ALC-P200」**  
認定番号: JB10001-7

一般企業や運輸企業の出退勤管理向けに特化した、アルコール検知器システムです。写真付き測定結果・測定前後の動画が1年以上記録されます。不正防止機能が充実した、標準モデルでありながら、IC免許証・血圧計との連携、IT点呼等、拡張性にすぐれた入門機です。

[詳しくはこちら](#)

**(株)バイアール「アルキラー-W」**  
認定番号: JB10001-8

アルキラーPlusに日本製高精度センサーを搭載した電気化学式検知器が急増！スマートフォンの運動型アルコールチェックシステム「いつどこで検知が検知なのか」をwebで確認し、複業管理と不正防止に活用できます。

[詳しくはこちら](#)

**フィガロ検研(株)「フーゴプロ FALC-11」**  
認定番号: JB10001-9

運輸業務管理に最適な機能を搭載したアルコール検知器です。車検所設置型、遠隔地管理用いずれの使い方もでき、付属のPC管理用ソフトで検査結果を一元管理することが可能です。

【セミナー開催(11/5)】「茨城県交通安全協会 石岡地区交通安全協会」様



「アルコール検知器協議会」では、飲酒運転の撲滅に向けた取組として「セミナー」や「講演」等を行っています。

「茨城県交通安全協会 石岡地区交通安全協会」様に、下記日程でセミナーを開催させて頂きました。

- 日時: 11月5日(火) 10:00~11:15
- 人数: 22名
- 場所: サンコーテクノ株式会社様連棟内

※セミナーでは実際に「アルコール検知器」を使っての測定等を行って頂きました。

「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたしました。



2020年度

展示会 + 教育活動 + 検定合格(更新) + 法令 = 30本程度の新着

# 2020年度 業務委員会 単年度予算（案）

業務委員会 活動内容		予算金額
1-1	Webサイト管理費（16,200円×12ヶ月）	199,400円
1-2	Webサイト改修（コンテンツ拡張）	50,000円
1-3	全日本安全協会HPバナー広告	349,920円
1-4	展示会出展費用 ・NASVA安全マネージメントセミナー 40,000円 ・日本バス協会 50,000円 ・交通システムEXPO 0円	90,000円
1-5	ジェルパッチ	50,000円
1-6	発送運賃等（展示会等使用備品）	30,000円
1-7	名刺/ポスター等印刷物	100,000円
	合計	869,320円



**2020年度も、ご協力のほど  
よろしくお願いいたします。**

